

「花巻市をもっと元気なまちにしよう!」と、市内各地域で活動中の「イーハトーブ地域おこしプロジェクトチーム（地域おこし協力隊）」。都市部から隊員として花巻に赴任し、地域のために奮闘している隊員たちをシリーズで紹介します。

# 一次産業の魅力、食材の美味しさについて 多くの人たちが体験する機会をつくりたい

① 昨年（2023年）の花巻まつりに実行委員会の一人として参加  
② グリーンツーリズム、農泊を学ぶためホースセラピー体験  
③ 「農業×食文化」を核にツーリズムを通して地域の魅力を発信するプロジェクトにガイド候補生として参加  
④ 花巻 高松第三行政区にて「農村地域の魅力について」ゲストトークを実施



第一回「畑でソトメシ」での一コマと記念写真。有機野菜畑で収穫体験を行い、その野菜を使ったカレーを味わった。



## 櫻庭隊員の「花巻暮らし」

### 車の効果

花巻の移動はほぼ車です。以前は居酒屋で飲むことが多かったのですが、車を利用するようになってからは飲む機会が減りました。もっぱら家飲みです。友人と飲む場合も、自宅に誘って飲んでいます。今は花巻市街に住んでいますが、郊外に住んでみたいと思っています。

### 花巻の好きな景色

登山と温泉によく出かけるのですが、早池峰山の山頂から眺める山々や海などの景色が良いですね。温泉は大沢温泉や藤三旅館など露天風呂の解放感と、そこから見える景色が好きです。

### 食べ物の話

東京で働いていた頃は出来合いの加工品ばかり食べていました。それが花巻に来てからは、生の野菜を購入して食べるが増えました。毎日味噌汁を作るように心がけています。お米はおかげさまで農家さんからいただくことが多く、自分で買うことはほとんどありません。ありがたいですね。

私の高校時代は、温暖化による砂漠化や酸性雨が社会問題として騒がれ始めた頃でした。自分も環境改善に取り組みたいと思い、環境について学べる大学を志望しました。大学では「LCA（ライフサイクルアセスメント）」という製品やサービスに対する環境影響評価の手法を使い、牛乳パックのリサイクルについて調査したこともあります。世間的にはリサイクルが環境に良いとされていましたが、牛乳パックを洗浄する際の水の量や、再利用のための加工の経費を調べた結果、リサイクルしたほうが環境に負荷がかかることがわかりました。

大学卒業後、何社かをを経て、30歳の頃にポータルサイトを運営するIT企業へ入社。私は環境貢献に取り組み事業を担当しました。環境の現場を伝えるための取材の手配・ディレクションの他、大規模な環境イベントの企画準備も経験しました。次第に環境の現場をもっと知りたいと思い、プライベートでNPOや民間の活動に参加。パソコンの前ではなく、現場だからわかることがあると気づきました。

東日本大震災発生時には、ボランティア活動のために東北へ。その中で首都圏には東北を訪れたことがある人が少ないこと、ボランティアに抵抗を持っている人が多いことを感じました。そういった人たちが東北を訪れて消費するだけでも支援につながるはずだと、東北の温泉に入り、地元の人たちと交流するツアーを企画。さらに農業体験のツアーも企画しました。漁師さんと船に乗って、釣ったばかりの魚をさばって食べたり、農家さんの畑で収穫してもぎたての野菜を食べたりしたとき、あまりの美味しさに驚きました。東京で生活していると、この美味しさも、作られる過程やどんな思いで作っているかも知らない人が多い。そんな人たちに一次産業と触れ合う機会をつくりたいと思うようになりました。

そこからもう一歩踏み出すきっかけになったのは、農家さんの一言でした。私が意見を述べた時、「さくちゃんにはわからないと思うよ」と。つまり住んで当事者にならないとわからない。その言葉が心に残り、東京での仕事・生活から離れることを決めました。仕事探しをする中で地域おこし協力隊の制度を知って様々な地域を検討したのですが、暮らしやすさを感じて申し込んだのが花巻市でした。

着任1年目は産直協議会、グリーンツーリズム、農泊など主に農政課の事業に携わりました。今年度は「畑でソトメシ」という独自企画に着手しています。都市生活をしている人たちに一次産業にかかわるきっかけづくりをするための活動です。みんなで旬を感じながら食の生産現場の畑で収穫し、みんなで調理して美味しく食べるという流れで、「食」が中心になっています。これまでの農業体験では農家の方々が直接参加者を世話する形式でしたが、ガイドを紹介することで農家と参加者の双方がもっと楽しめるように工夫しています。

この活動事業を継続していくために、旅行業の資格を取りツアー化していくことも考えています。また、色々な方にかかわっていただき、それぞれの得意分野を生かすかたちで、いっそう盛り上げていきたいと思っています。

### 「イーハトーブ地域おこしプロジェクト」とは？

市内各地域（花巻、大迫、石鳥谷、東和）の課題解決に新しい目線で取り組むために、主に都市地域の意欲ある人材を「協力隊員」として受け入れ、地域の一員として活動してもらうプロジェクト。任期は3年で、平成27年度から導入しています。現在、8人の隊員がそれぞれの地域に入り、中心市街地の空洞化、後継者不足による主要産業の縮小、少子高齢化や人口減少による地域の活力減退といった課題に取り組んでいます。